

令和6年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第 1 学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ひらがな・カタカナを覚えてたてで、まだ、書き慣れない。文字が乱れてしまう。 ○大事なことを落とさずに聞き取ること。 ○相手に伝わるような声量や、話し方の工夫。 ○語彙を増やしていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の書字の特徴を把握し、個別に指導していくようにする。また、児童が板書しやすいように、書画カメラ等を使い手本となる物を提示する。 ○話を聞かせるときには、「いくつ話すよ、何について話すよ」と提示するなどして、児童が聞き取りやすいような話し方を工夫する必要がある。 ○話す活動においては、相手意識をもち、声の大きさや話し方を変えて伝えられるようにする。 ○読書活動を通して語彙力を高めていく。宿題で音読をすることによって、言葉の感覚を豊かにしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の生活上の実態として、電子マネー等の普及で、現金を持って買い物に出かける機会も少ないことが事実として挙げられる。便利さと同時に、物を数える等の経験も少なく、数の量感を身に付けること。 ○现阶段のひきざんでは、求補、求差があるが、「求差」を苦手とする児童が多く見られる。《求補 $A - B = X$》「りんごとみかんが全部で A 個ある。りんごは B 個ある。みかんは何個ある？」《求差 $A - B = X$》「りんごが A 個ある。みかんは B 個ある。違いは何個？」 	<ul style="list-style-type: none"> ○数え棒やおはじきなどの具体物を 10 のまとまりを作って数えさせていく経験を授業の中でも積極的に取り入れていく。 ○立式後、その式の意味を説明する機会を積極的に設け、式には意味があることをしっかり身に付けさせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○観察の仕方や、調べ方など、すべてのことが初めてのことなので、丁寧な指導が必要である。 ○見通しをもった指導計画を学年で周知し、計画的に段階を追って学習していくこと。 ○見たこと感じたこと気付いたことなどを交流し、一人一人の視野を広げ、言葉や文字、絵などを使い、いろいろ表現できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が取り組みやすいワークシートなどを用意したり、手本となる物を用意したりして、活動の見通しをもてるようにする。 ○指導計画を見直し、児童に身に付けさせたい力を明らかにしながら、学年で共通理解していく。 ○一時間、一単元の中に子どもの考えを交流する機会を設定し、高め合えるようにしていく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な道具の使い方・絵の具等の使い方がまだ理解しきれていないため、その都度確認していくことが必要である。 ○題材のテーマや材料から発想を広げる場面で、様々な例、やり方を提示することで、イメージを膨らませること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書画カメラで教員が実際に道具を使っている様子を見せたり、黒板に使い方を常に板書したりして児童がその都度確認できるようにしておく。 ○作品をつくる前に、児童とどんなものを作りたいか、教科書の写真や教員の手本を見てイメージを膨らませることが出来るようにしていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○集団での運動遊びの経験が少ない児童が多く、列を意識して並んだり、集団での運動をしたりなど、個だけでなく集団で動くことへの意識を高めていけるような指導が必要である。 ○走ったり、跳んだり、跳ねたりなど、様々な体の動き方をしっかりと経験させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで行う運動を多く取り入れ、一人だけでなく、他者と協力して運動する時間を多く取り入れていく。 ○準備運動などでいろいろな動きを取り入れるなどして、体づくりをしていく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○集団生活には、ルールやマナーを守ることが求められるが、ルールやマナーを守る意義を理解させ、行動化していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団生活の場では、安全や安心を守っていくためにルールやマナーが重要であることを、学校生活の具体的な場面を取り上げながら指導を行っていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○拍のリズムに合わせて、歌唱することや曲想にあわせた声を出すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○拍の流れにのって大きなフレーズを感じながら歌えるようにするために、互いの声をよく聴くことを意識させたり、発声方法を指導したりして、無理のないきれいな響きで歌えるようにする。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に ALT と綿密な打ち合わせを行うこと。 ○苦手意識があり、意欲的に活動できない子への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に活動内容を聞いておき、ALT, 担任それぞれのすべきことを把握しておく。 ○意欲的でない子には、授業の中で、担任が意識して関わり、支援していく。

